

令和6年度 第1回海津市総合教育会議 議事録

1 日時 令和6年6月28日（金）午後4時～午後5時5分

2 場所 海津市役所 東館4階 災害対策本部室

3 出席者の氏名

市長	横川 真澄
教育長	服部 公彦
教育長職務代理者	曾根 理仁
教育委員	伊藤 亮一
教育委員	大津 由佳
教育委員	伊藤 嘉保

4 説明等のために出席した者の氏名

総務企画部長	近藤 三喜夫
市民生活部長	奥村 孝司
健康福祉部長	近藤 康成
教育委員会事務局長	後藤 政樹
財政課長	小粥 政人
企画課長	山崎 賢二
文化・スポーツ課長兼歴史民俗資料館長	徳永 宗哲
文化・スポーツ課課長	
（社会教育施設管理担当）兼図書館長	伊藤 豊
こども未来課長兼こども家庭センター長	毛利 卓司
こども未来課こども未来館準備担当課長	山本 桂子
教育総務課長兼学校給食センター所長	後藤 英仁
学校教育課長兼総合教育センター所長	大坪 光
企画課課長補佐兼総合政策係長	杉野 雄一
企画課課長補佐（総合政策担当）	岩田 三佳

5 傍聴者

なし

6 議題

- (1) 市内小中学校におけるいじめと不登校の実態について
- (2) こども未来館について

7 その他

- ・海津小学校及び総合教育センターの現状について
- ・かいづっこコミュバスパスポートについて

発言者	発言内容
企画課長	<p>これより令和6年度第1回海津市総合教育会議を開会する。 開会にあたり、市長より挨拶申し上げる。</p>
市長	<p>4月下旬に、消滅可能性自治体に該当する自治体が公表され、本市は、前回の2014年の公表に続き、今回も該当となった。その判定の1番大きな要素は出生率である。このため、「子育て世代に選ばれるまちづくり」を市政の第1に掲げ取り組んでいるところである。</p> <p>こうしたことを踏まえ、来年度の当初予算は、更に一步踏み込んだ事業を盛り込んでいきたいと考えている。教育委員会においても、子育て世代に選ばれる教育を更に議論していただき、予算編成に向けて検討いただくと大変ありがたい。</p> <p>さて、この会議は、市政と教育の課題を市長部局と教育委員会が相互に共有することを目的としている。今年度からは、この会議の事務局を市長部局へ移し、政策立案を担う企画課が担当する。教育行政については、ややもすれば、まちづくりの外に置かれてしまうことが他の自治体では多いが、まちづくりの一環として、教育行政を考えていくきっかけになればと思う。皆様におかれては、それぞれの経験を踏まえ、多様な角度から様々な忌憚のない意見をいただき、市長と教育委員会各々でやるべきことを整理し、子育て世代に選ばれるまちづくりを目指してまいりたい。</p> <p>4月5日の海津小学校開校式では、足立佳奈さんにサプライズで登場していただき、希望あふれるスタートになった。小学校の統合は、高須小学校以外の小学校から来た子どもたちには大きな変化となるため、不安に思う子どもたちが多くいないか非常に心配していたが、今のところ、これまで学校への行きづらさを感じていた子どもたちが元気に登校してくれている事例が複数あると聞き、前向きに捉えてくれたことを非常にうれしく思っている。しかしながら、時間をおいて影響が出ることも十分考えられるため、引き続き、子どもたちのサポートやケアをしっかりと行えるよう、子どもたちの変化を注視してまいりたい。</p> <p>最後に、本日の会議では、小・中学校におけるいじめと不登校という議題とともに、こども未来館について説明をさせていただく。こども未来館については、愛称を募集し、全国から340点の応募があった。その中から、「ZüTTo」（ずっと）に決定した。子どもたちが遊びや学びにずっと夢中になれる、そして、大人になっても訪れたいような世代を超えてずっと愛される施設になるようにという願いを込め、この愛称に決定した。11月2日にオープンするので期待していただきたい。</p> <p>結びに、海津市の教育が、特色と魅力ある、子育て世代に選ばれる教育となるよう、活発なご意見をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。</p>
企画課長	<p>議題（1）市内小中学校におけるいじめと不登校の実態について、学校</p>

	教育課長より説明する。
学校教育課長 兼教育総合セ ンター所長	<資料により説明>
伊藤(嘉)委員	<p>いじめの認知件数が県内の平均値と比較して若干多いのは、学校の先生が一生懸命子どもたちの様子を見守っているという説明があり、ある意味、安心できる環境だと思う。</p> <p>いじめ解消の判断は、文部科学省の定義では、いじめが止まっている状態が継続して3か月を目安としている。ぜひ解消率の把握をしていただきたい。</p> <p>また、小中学校でいじめの重大事態発生により、第三者委員会を設置し調査を行い、その調査結果を被害者に説明したところ、納得がいかず再調査となった場合、どの課が担当するのか。</p>
学校教育課長 兼教育総合セ ンター所長	学校教育課が中心となり、第三者委員会との連携が必要になってくると認識している。
教育長	いじめの対応については、いじめ問題対策協議会で常時対応し、重大事態が発生した場合は、弁護士、心療内科医、スクールカウンセラー等で組織する特別委員会を設置する。
伊藤(嘉)委員	<p>再調査となった場合は、地方自治体の長が行うことが決められている。</p> <p>また、「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」が今般改訂される。重大事態が発生してからでは大混乱に陥り、対応が遅れ、大きな問題になりかねないため、いじめの重大事態が発生したときの対応を事前にしっかり整理していただきたい。</p>
企画課長	議題(2) こども未来館について、こども未来課こども未来館準備担当課長より説明する。
こども未来課 こども未来館 準備担当課長	<資料により説明>
伊藤(亮)委員	資料に「子育て中の保護者が悩みや不安を相談できる場を提供します」とあるが、今の説明では相談スペースがなかった。どこかあるのか。
こども未来課 こども未来館 準備担当課長	特別な場所としては設けていない。親子で遊ぶ際に、お母さん同士が相談し合ったり、専門職や保育士に相談することを想定している。
市長	2階は業者に委託し、キッズ広場を運営していく。スタッフには、保育士や子育て支援員の資格を持った人を含む仕様としており、保護者がお子さんの成長で気になった点等を相談できるようにする。そして、1階でも、市の保健師や保育士が巡回し、相談対応ができる取組みを行っていく。

伊藤(亮)委員	日常的には2階へ行かないと相談できないということか。
市長	子育て相談については、こども未来館のほか、子育て支援センター等でも常時対応している。
伊藤(亮)委員	2階へ行くときはエレベーターがあるのか。
こども未来課 こども未来館 準備担当課長	エレベーターはある。小さいお子さん連れや足の不自由な人にはエレベーターを案内させていただく。2階は有料となるため、1階の券売機で券を購入し、エレベーターを利用する場合は、受付でIDカードをもらう。ベビーカーについては玄関に置いていただく。
市長	2階は土足禁止とし、子どもたちが自由に走り回って遊んでも危険のないよう、床をウレタンのようなクッション素材にしている。そのため、ベビーカーは、基本的には玄関に置いていただくことを考えている。
伊藤(亮)委員	市外使用料が安くないか。
市長	ひとまずこの使用料とし、あまりにも利用者が多い場合は使用料を上げたいと考えている。 賑わいの創出を一つの目的としているため、まずは海津市に来ていただき、素晴らしい施設があることを感じていただきたい。
大津委員	愛称の応募数にも表れているが、子育て世代のみならず、すごく注目されている施設だと思う。サポーターズの会議に参加したときも、若いお母さんも子育てしながらも関わりたいという方がたくさんみえた。
曾根委員	子どもの利用が多いため、玄関で靴を脱ぐとき、ストレスがかからないようにしていただきたい。また、トイレも清潔にしていきたい。
伊藤(嘉)委員	万が一、災害時に避難する場合、子どもたちが素足だと危険なため、検討していただきたい。
企画課長	その他 海津小学校及び総合教育センターの現状について、学校教育課長より説明する。
学校教育課長 兼教育総合センター所長	海津小学校については、4月当初、スクールバスによる登校について様々な課題があったが、5月にはスムーズに運行できる状況となった。 学校行事では、ふれあい運動集会があり、地域の人や保護者等 500 人程が参加した。校歌を応援歌として精一杯歌う子どもたちの姿が非常に印象的だった。 また、児童数の少ない小学校の児童は、例えば、係決めの際、様子見をして控えてしまうのではないかと心配していたが、積極的にリーダーに立候補する姿が見受けられた。 統合については、思っていた程心配することなく、かえって良い影響を子どもたちに与えているのではないかと認識している。 また、教員の時間外勤務の状況については、市内小学校の平均時間と比較すると、海津小学校はむしろ若干少ない状況にある。 次に、総合教育センターについては、7月に利用したいと言っている児

	<p>童生徒がいるため、上手く受入れができるよう準備を進めていく。職員の研修会場としては、指導者候補の教員を対象とした研修等ですでに活用している。夏休み期間には、タブレットの活用、図工の実技、体育のダンス研修を計画している。</p>
企画課長	<p>次に、かいづっこコミュバスパスポートについて、私から説明させていただく。</p> <p>&lt;資料により説明&gt;</p>
大津委員	<p>歴史民俗資料館やお千代保稲荷神社でのイベント等と合わせて企画すると利用促進になる。</p>
企画課長	<p>公共交通会議でもスタンプラリー等を検討してはどうかと提案があった。また、他の自治体の公共交通会議では、バスの運転手不足が課題になっているため、バスの運転手になりたくなるような企画を検討してほしいと事業者から要望があった。今回の企画が、職業の選択肢の一つに考えてもらえる機会になるといいと思っている。</p>
教育長	<p>海津小学校については、非常にいいスタートをきれた。突然、児童数が約400人になり、これまで交流のない子どもたちと同じクラスになることは、最初は緊張感もあり、トラブルもある。トラブルが起こるのは当然で、トラブルがあるから、子どもたちは悩み、解決して仲直りをする。こうして人間関係を築いていくことは、人としての成長に繋がっていく。統合する意味はそこにあるのではないかと思う。</p> <p>今後も間違いなくトラブルは増えると思うが、それをマイナスとして捉えるのではなく、海津の子をよりたくましい子に育て、人間関係を良好にできるコミュニケーション能力を持った子どもにしていきたいと考えている。学校では、「統合チェンジ」を合言葉とし、一人ひとりのやる気を伸ばしていこうと取り組んでいる。今後とも温かい目で見守っていただくとともに、支えていただきたい。</p> <p>また、かいづっこコミュバスパスポートについては、子どもたちが海津の歴史や文化を感じる良い機会なので、保護者と大いに利用していただきたい。</p> <p>今後も、市長部局と教育委員会が知恵を出し合い、一つになって盛り上げていきたい。</p>
企画課長	<p>これにて本日の会議を終了する。</p>

閉会 午後5時5分